リカバリーについて

リカバリーは PC を出荷時の状態に戻す作業です。

パソコンの不具合には主に機械の物理的な故障と Windows システム、Windows 上で動作するソフトウェアの不具合の2種類に 分けられます。

機械の物理的な故障は、パーツを交換することで修理を行いますが、Windows システムやソフトウェアの不具合は、リカバリー やクリーンインストールで改善する可能性があります。

JUNS では出荷直前の全ての動作テストが終わった時点で、バックアップデータを Recover (R) ドライブ内に作成しています。 このバックアップデータを納品時にお付けしているリカバリーディスクで呼び出すことによって、リカバリーを行います。 Recovery (R) ドライブ内のデータを削除したり移動したりしますと、リカバリーができなくなってしまいます。



リカバリーの仕方

① 電源を入れ、立ち上がる時にキーボードの「Delete」キーをトン・トン・トンと叩きます。下の画像のような画面になります。 Windows が起動してしまった場合はもう一度電源を切って、やり直してください。

	BIOS SETUP UTILITY	the state of the second se
Main Ai Tweaker Adva	nced Power Boot Ti	0015 Exit
System Time System Date Legacy Diskette A Language SATA 1 SATA 2 SATA 3 SATA 3 SATA 4 SATA 5 SATA 5 SATA 6 Storage Configuration System Information	<pre>III:36:17] Tue 01/22/2013] Disabled] English] III:401 HDS721010C] III.0T ST BD-RE BH] III.0T Detected] III.0T Detected] III.0T Detected] III.0T Detected] III.0T Detected]</pre>	Use LENTERI. LTABI or ISHIFT-TABI to select a field. Use I+l or I-l to configure system Time. ↔ Select Screen 14 Select Item +- Change Field Tab Select Field F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61 (C) Comur i	abt 1985-2010, American Me	matrends. Inc.

② BIOS 画面での操作はマウスは使用せず、キーボードのみで行います。

キーボードの矢印キー【→】を叩くと、タブが切り替わります。「Boot」のタブに移動してください。

③ 「Boot Device Priority」を選択してください。キーボードの【↑】【↓】で選択部分が切り替わります。 文字が白くなっている状態が選択状態です。

「Boot Device Priority」が白くなっている状態で【Enter】キーを押します。

pecifies the Boot evice Priority equence. virtual floppy disk rive (Floppy Drive B: may appear when you et the CD-ROM drive s the first boot evice.
 Select Screen Select Item Select Item nter Go to Sub Screen General Help Save and Exit SC Exit

④ 画面が切り替わって下のような表示になります。

「1st Boot Device」が白くなっている状態で【Enter】キーを押します。

	BIOS SETUP UTILITY	
Boot Device Priority		Specifies the boot
1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device	[SATA:PM-Hitachi HD] [CDROM:SM-HL-DT-ST] [Disabled]	A device enclosed in parenthesis has been disabled in the corresponding type menu.
		 ↔ Select Screen ↑↓ Select Item ← Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61 (C) Copy	right 1985-2010, American Me	gatrends, Inc.

⑤ 青い「Options」というウインドウが表示されます。
 「CDROM:~~」という表記のものを選び【Enter】キーを押してください。
 赤枠で囲んだ部分を選んでください。



⑥ リカバリーディスクをブルーレイドライブのトレイに入れてください。

⑦ キーボードの【F10】を押してください。下のような確認ウインドウがでますので、「OK」が黒くなっている状態を確認し、 【Enter】キーを押してください。

Mathi Fil Tuesd	BIOS SETUP UTILITY	
Boot Settings		Specifies the Boot
 Boot Device Pr Hard Disk Driv 	riority Jes	A virtual floppy disk
► Boot Settings	Configuration	drive (Floppy Drive B:
	Save configuration changes and exi	it now? It now? Iect Screen
		Enter Go to Sub Screen F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61	(C)Copyright 1985-2010, American Me	egatrends, Inc.

⑧ 再起動がかかりますので、画面を見ていてください。

起動する時に下の画像のように黒い背景に「Pless any key boot from CD or DVD.」という表記がでますので、すぐに何かキーボードのキーを叩いてください。どのキーでも OK です。

タイミングを逃して押し損ねた場合、通常通り Windows が起動することがあります。

その時は、Windows が完全に起動した後、再起動をしますと、再度下の画面がでますので、やりなおしてください。



⑧ ディスクを読み込みはじめますのでしばらくお待ちください。下の画像のような画面がでたら「次へ」で進んでください。

システム回復オプション		×
言語を選択してください。		
日本語(日本)		<u> </u>
キーボード入力方式を選択し	JTYEELY D	
Microsoft IME	HE REAL FOR THE PARTY OF THE PA	
	; 太へ(N)>	キャンセル

⑨ 下の「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピュータを復元します。」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

C	Windows の起動に伴う問題の修得 ーティング システムを選択してください	に用の回復ツールを使用しい。	ます。修復するオペ
	オペレーティング システムが一覧にま クリックして、ハード ディスクのドライノ	を示されない場合は、[ドラ ドーをインストールしてくださ	イバーの読み込み] い。
	オペレーティング システム	パーティション	場所
	Windows 7	819299 MB	(E:) Win7-64bi
			C
ř.	以前に作成したシステム イメージを	使用して、コンピューターを	復元します。
	125	(バー()(あみえみ(1))	(N) >

⑩ 「利用可能なシステムイメージのうち最新のものを使用する」にチェックが入っている状態で「次へ」をクリックします。

🚑 コンピューター イメージの再通	Л	×
	システム イメージ パックアップの 選択 システム イメージを使用して、このコンピューターを復元します。このコンピ ューター上にあるすべての項目は、システム イメージ内の情報によって置 き換えられます。	
	 ・利用可能なシステム イメージのうち最新のものを使用する (推奨)(U) 場所: Recovery (F:) 日付と時刻! 2013/01/22 15:28:36 (GMT+9:00) コンピューター: JUNSPro ・ システム イメージを選択する(S) 	
	< 戻る(日) 次へ(N) > キャンセル	

① ②以降はそのまま「次へ」をクリックし、進んでください。
 「完了」ボタンのある下の画像の画面になったら、完了をクリックしてください。

2010年1月1日1日 11日日 11日日 11日日 11日日 11日日 11日日 11			×
	コンピューターは、以下の 日付と時刻! コンピューター: 復元するドライブ:	のシステム イメージから1复元されます 【20182/01/42 1528351051 JUNSPro ▼₩?¥Volume{0cf8f8c1-5f	8b-11e2-8e2:
		(戻る(B) 完了	キャンセル

12 確認ダイアログが出ますので、「はい」をクリックしてください。

復元が始まります。これには時間がかかりますが、自動で進みますので終了までお待ちください。 終わりましたら自動で Windows が立ち上がります。

以上でリカバリーは終了です。ブルーレイドライブからリカバリーディスクを取り出してください。

	コンピューターは、以下の 日付と時刻! コンピューター:	ンシステム イメージから視元されます: 2013/01/22 15:28:36 (GMT+9:00) JUNSPro	
<mark>рура – 9-</mark> Са Ма	イメージの再適用 ライブ内の復元対象のデータはすく よって置き換えられます。 行っしますか?	ズイ ズイ ズ システム イメージ内のデータ (はいの) いいえのり (いいえのり)	
		、 戻る(B) 完了 キャンセル	1

13 リカバリーディスクを読み込む設定になっているので、それを戻します。

Windows を終了し、電源を入れたらまたキーボードの「Delete」キーをトン・トン・トンと叩き、BIOS を起動します。 BIOS が立ち上がり、下の画面になったら、「Boot」のタブに移動します。

(最初にしていただいた作業と同じです。)

	BIOS SETUP UTILITY	No. of Concession, Name of Street, or other
Main Ai Tweaker Adva	unced Power Boot T	ools Exit
System Time System Date Legacy Diskette A Language SATA 1 SATA 2 SATA 3 SATA 3 SATA 4 SATA 5 SATA 5 SATA 6 Storage Configuration System Information	<pre>El1:36:17] Tue 01/22/2013] Disabled] English] (Hitachi HDS721010C] (HL-DT-ST BD-RE BH] (Not Detected] (Not Detected] (Not Detected] (Not Detected] (Not Detected] (Not Detected]</pre>	Use IENTER], ITABI or ISHIFT-TABI to select a field. Use [+] or [-] to configure system Time. ↔ Select Screen 14 Select Item +- Change Field Tab Select Field F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61 (C) Copyr i	ight 1985-2010, American Me	gatrends, Inc.

⑭ 「Boot Device Priority」が白くなっている状態で【Enter】キーを押します。

BIOS SETUP UTILITY Hain Of Tuesker Odynamic Power Dord	
Boot Settings Boot Device Priority Hard Disk Drives Boot Settings Configuration Security	Specifies the Boot Device Priority sequence. A virtual floppy disk drive (Floppy Drive B:) may appear when you set the CD-ROM drive as the first boot device. ↔ Select Screen 14 Select Item Enter Go to Sub Screen F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61 (C)Copyright 1985-2010, America	n Megatrends, Inc.

1 画面が切り替わって下のような表示になります。

「1st Boot Device」が白くなっている状態で【Enter】キーを押します。

	BIOS SETUP UTILITY Boot	
Boot Device Priority		Specifies the boot
1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device	[SATA:PM-Hitachi HD] [CDROM:SM-HL-DT-ST] [Disabled]	A device enclosed in parenthesis has been disabled in the corresponding type menu.
		 ↔ Select Screen ↑↓ Select Item ← Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
v02.61 (C)(Copyright 1985-2010, American Me	gatrends, Inc.

⑩ 青い「Options」というウインドウが表示されるので「SATA:PM-Hitachi HDS721010CLA332」に合わせ【Enter】キーを押 してください。

	LODE	
Boot Device Priority 1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device	(SATA:PM-Hitachi HD] [CDROM:SM-HL-DT-ST] [Disabled]	Specifies the boot sequence from the available devices. A device enclosed in parenthesis has been disabled in the
	Options Removable Dev. SATA:PM-Hitachi HDS721010CLA33 CDRUM:SM-HL-DI-ST BD-RE BH10NS Disabled	disabled in the prresponding type mu. 2 Select Screen Select Item - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit

① キーボードの【F10】を押してください。下のような確認ウインドウがでますので、「OK」が黒くなっている状態を確認し、【Enter】キーを押してください。



PC が再起動します。

以上で作業は終了です。システムは納品時に戻ります。リカバリーを行っても不具合が解消しない場合は、お問い合わせください。